

「京都市地域コミュニティ活性化推進計画（仮称）」素案に対する市民意見募集について
 いただいた御意見と本市の考え方

1 いただいた御意見の総数

242件

2 いただいた御意見と本市の考え方

(1) 素案に賛同する，又は御意見の趣旨が素案に盛り込まれているもの<95件>

ア 基本的な考え方，計画の位置付け，目標等に関する御意見<51件>

(ア) 計画全般について賛同する旨の御意見（18件）

いただいた御意見	本市の考え方
具体的ではないが，目指すところは伝わった。	計画の趣旨に賛同，応援いただいた御意見を踏まえ，地域コミュニティの活性化に向けた取組を進めてまいります。
計画倒れにならないよう，がんばってほしい。	
市外在住だが町内会の役員が当たっている。京都市の取組に学びたい。	
将来の住みよいまちづくりのため，計画どおり一步一步進めていってほしい。	
大変良い内容。何とか地域コミュニティを活性化させて，絆を強くしたいもの。	
10年計画，5年計画を設定する。シニア世代の活動サポート・地域住民相互生活サポート。	
趣旨や思いは同じだと思う。	
地域コミュニティが活性化し，住民同士のつながりが強まり，一人暮らし，高齢者の孤立が防げ，子どもたちの見守りができれば有意義。	
計画を初めて知った。自分の意見や感想は言える状態ではないが，勉強し，どこかで貢献したい。	
趣旨として反対するところはない。	
まったくそのとおりでと思う。学生が多いので難しいと思う。	
全体的に良いと思う。	
人のために行動し，感謝されることで幸福感を実感できる人が，一人でも多くなることを期待する。	
ごく当たり前の内容。10年といわずどんどん進めていくことかと思う。	
基本方針にまったく賛成。何かの形で積極的に参加することは市民としての権利・義務と思う。	

東日本大震災の状況を考えると大変大切なこと。
コミュニティの歴史のある, 京都らしい計画にしてほしい。 区の特徴に応じたものにもすることも大事。
各区基本計画を上位計画に位置付け, 各区が実状に応じて取り組むことで, 一層の効果が期待できるのではない か。

(イ) 地域における人と人とのつながりに関する所感等 (21件)

いただいた御意見	本市の考え方
子どもが小学校を卒業すると町内会を辞める人がいるが, 地域のつながりは目先のメリットで判断するものではないはず。市から地域のつながりの大切さをPRしてほしい。	人と人とのつながりの大切さについて, 賛同いただく御意見や思いをたくさん寄せていただきました。今後, 計画を推進していくにあたり, 地域における人と人とのつながりの大切さについて, 広報物の作成・配布やシンポジウムの開催などを通じて, 一人でも多くの市民が共有できるよう努めてまいります。
わずらわしくなく, いざというときに頼りになるつながり方が理想。	
いざというときに近所のつながりが大切なのはわかるが, 昔のようなつきあいをする社会に戻ることはあり得ない。	
昨年も孤独死があり, 人と人とのつながりの必要性を痛感した。民生委員等が活動している中でも起こりうる事態であり, より一層, 近隣同士の交流, 連携が特に大切。	
今日, 物の豊かさはあるが心の豊かさが無い。町内会に入会する人が少なくなってきたのは, 若い世帯主に苦勞がないからだろうか。	
共同作業, 団体行動は大事。	
地域の行事に参加する勇気が必要。参加した時の喜び, そして次は自分の意見が反映できるよう努力してほしい。	
今はほとんど共稼ぎで家にいる時間が少なく, 昔のようなコミュニケーションはできない。新しい考え方が必要。昔に戻ることはないと思う。	
ライフスタイルが違ってきているので難しい。	
災害というキーワードで, 人と人とのつながりが大切に思われるようになってきている。	
やはり向こう三軒両隣との関わりが大事だと感じている。	
趣旨には賛成だが老人ばかりの所帯が増え, 活性化は困難。子どもがいれば親もついてくるので, 地域のコミュニケーションが行え, 活性化できるのでは。	

今一度昔の良き時代に戻り、向こう三軒両隣という言葉が日常的に出てくる近所関係ができないかと思う。
子どもを中心にした近隣とのつながりを密にする。
独居老人の社会復帰を目指す。生活弱者の支え。
今回町内会長を務めるが、全員の顔も知らない状況。地域の一人ひとりを大事と思う人を、一人でも増やしていくことが大事と感じる。
弱者を救える真の強者を育成することで社会力は向上する。個人の「人間力」を研ぎ、強者を保護・支援できる社会基盤が必要。
生活の基盤となる町内会等、地域でつながりが希薄となっていることはやはり問題視するべき。
古都のイメージが強く、伸び悩む傾向が見られる。抜本的な考えが必要。
役員になって地域活動の大変さを感じているが、隣同士、近所、町内のつながりは大切だと思う。
東日本大震災時に、地域コミュニティがしっかりしている地域はスムーズなボランティア受入ができたと聞く。

(ウ) 計画の目標について賛同する旨の御意見（10件）

いただいた御意見	本市の考え方
横のつながりとその存在を、地域住民が等しく共有できるようにする。	「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げる「みんなで目指す10年後の姿」の実現に向け、多くの御賛同をいただいたと考えています。 子ども、若者、お年寄りなど、皆が安心して快適に暮らし続けられるコミュニティを目指してまいります。 この計画においては、コミュニティの活性化を図る目安の一つとして、自治会等の加入率を掲げていますが、自治会等の加入率をどのように向上させていくのか、具体的に施策を推進していくなかで検証を重ね、より効果的な手法等を検討してまいります。
定年を迎えてどうするか、行く場所を考えてほしい。	
地域の子どもを増やすことも目標に入れてはどうか。	
自治会加入率いかにして増やすのか、事例をオープンにしてほしい。独居高齢者、若者が外れていくことが大きな要因だと考えるが、その原因は？対策は？	
10年後の具体的な目標があるのでわかりやすい。私の地域は加入率が高いので維持していきたい。	
5項目の目標は全面的に賛成する。	
加入率の目標、現状の10%アップが良い。	
目標は、地域、行政が一層の連携を図り、真剣に取り組んでいくことで達成できるもの。	

計画の目標にまったく賛成。	
自治会加入率の算定は、行政が把握した数字に依拠すべき。	

(エ) 計画の実践を求める御意見 (2件)

いただいた御意見	本市の考え方
市の取組に期待する。計画づくりに時間をかけるのではなく、まず動いてほしい。	計画に基づき、具体的な施策に順次、着手してまいります。 また、計画等を市民の方々に周知していく際には、イラスト等を効果的に使い、わかりやすいパンフレットの作成等に努めてまいります。
計画よりまず実践を。文字ばかりでなくイラストなども使うべき。	

イ 具体的な方針、施策の例に関する御意見<31件>

(ア) 具体的な方針に賛同する御意見 (14件)

いただいた御意見	本市の考え方
防災対策はしっかりやってほしい。ムダなことをやめて防災対策に金と人を集めてほしい。	「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げる「みんなでめざす10年後の姿」の実現に向け、京都市地域コミュニティ活性化推進審議会で議論いただいた具体的な方針をもとに、居場所づくり、地域防災力の向上、子どもが安心して遊ぶことのできる環境づくり等を目指し、学校教育とも十分に連携を図りながら地域の皆様の様々な取組を支援してまいります。 また、取組を進めるに当たっては、区役所・支所を中心に、地域の方々の声を反映し、地域の事情や特性等に応じた取組となるよう常に留意してまいります。
子どもが安心して遊ぶことができる環境をつくりたい。	
気軽に交流できる居場所があるまちづくりはぜひ進めてほしい。	
地域のみんなで子どもを共に育むまちづくりも大事なので進めてほしい。	
コミュニティは住民自ら運営するもの。行政はあくまで「支援」という立場を貫くべき。	
社会人として調和の取れた人間づくり。義務教育から一貫した教育が必要だと思う。	
昔、学校では1年から6年までを町内単位で分けて行事を行う時間があった。各人が町内を意識し、良き隣人関係ができるのではないか。	
次代を担う世代に希望を託すのが最良と考える。受験優先ではなく、「人間としてどう生きるべきか」という教育に力を入れても良いのではないか。	

<p>各々の地域が持っている特性は尊重すべき。時流に流されるべきではない。</p>
<p>理想となる姿を見える化し、今の流れを止めて、理想の姿に基づく方策を提示する必要がある。</p>
<p>常日頃から良好な地域コミュニティを形成し、交流を深めていける場が重要になってくる。</p>
<p>地域ぐるみの子育て支援などを通じて、良好な地域コミュニティの形成ができればすばらしい。</p>
<p>具体的方針・方策は賛同。地域に応じた対策を区組織と共有することが必須。</p>
<p>若い人の意見を聞き、若い人がとけこみやすいコミュニティづくりを進めてほしい。</p>

(イ) 施策の例に賛同、又は期待する御意見（17件）

いただいた御意見	本市の考え方
サポートセンターに期待したい。	<p>地域コミュニティの活性化に係るさまざまな相談に応じる「地域コミュニティサポートセンター（仮称）」の設置をはじめ、コミュニティ活性化のための地域の取組に対する助成制度の創設、専門家の派遣、自治会運営マニュアルの作成など、地域の皆様のさまざまな取組を支援してまいります。</p>
地域コミュニティサポートセンターはいつできるのか。私の町内の調整もお願いしたい。	
助成制度の創設に期待する。	
町内はお年寄りが多く、組長がまわせなくなり、改革が必要。アドバイスしていただきたい。	
今年度、町内会長になったが、いろいろと考えることがある。相談にのってほしい。	
自治会活動ハンドブックはぜひ作成してほしい。児童公園が少ないので増やしてほしい。	
まちづくりの専門家の派遣は是非お願いしたい。まちづくりセンターに相談したら区役所から来てもらえるのか。	
自治会運営を前例主義でやっているの、最低限のマニュアルがあってもよいのでは。	
マンション内自治会のイベントで依頼する講師の候補者リストを作りたいので知恵を借りたい。	

新しくこられた方に町内会に入ってもらうことが大事。まずは知らせるのがいい。	地域コミュニティの大切さについて、新しく転入してこられた方をはじめ、多くの市民に共有していただけるよう、周知・啓発等の取組に努めてまいります。
新規に転入してきた人に、地域の共有意識を理解してもらうことが大切。	
地域コミュニティの必要性や、心・経済的な余裕などの要件を満たす社会を実現するよう啓発する。	
公園に大人用の健康遊具を整備する時代に入っている。安心安全だけでなく、健康の視点で、高齢者向けポジティブ施策を期待したい。	既存の市有施設や公園の活用など、地域コミュニティの活性化に向けた取組を全市的に進めてまいります。
昔(私の子どもの頃)に比べ公園の遊具が減っているが、もう一つ二つあれば、母親らが顔を合わせる機会が増える。大切なことだと思う。	
特に、既存の市有施設の活用、地域の安心ネットワーク形成、防災機能の強化、災害対応力の向上は良いと思う。みんなで子どもを共に育むことも進めてほしい。	
特に新たな学びの場の創出に関しては、生涯学習を推進していくうえでもすばらしい方針だと思う。	
児童公園を高齢者や児童が集う場所として機能強化されることに関心がある。	

ウ 計画の推進、点検等に関する御意見< 13件>

(ア) 計画の推進について賛同する御意見 (6件)

いただいた御意見	本市の考え方
縦割り行政を改めると計画目標が住民にわかりやすくなる。具体的な方針も生まれてくる。	計画の推進に当たっては、さまざまな地域活動に携わっている市民の方や学識経験者等で構成し、公開で開催する京都市地域コミュニティ活性化推進審議会において、施策の実施状況等について審議していただき、随時改善を図りながら取組を進めてまいります。
完成や完了はないので、試行錯誤でいいと思う。	
審議会の構成員は住民とすること。	
計画の推進状況についての情報公開をお願いしたい。	
おまかせする。	
この計画の推進は、防災計画や福祉推進につながっていくすばらしい計画だと思う。	

(イ) 点検等について賛同する御意見（7件）

いただいた御意見	本市の考え方
基本計画は案の段階、点検見直しで住民の意見を反映すること。	計画は、概ね3年ごとに、さまざまな地域活動に携わっている市民の方や学識経験者等で構成する京都市地域コミュニティ活性化審議会において点検し、必要に応じて、よりよい計画へと見直し・充実を行っていくこととしています。
計画を実行してもすぐ効果がでるわけではないので、見直しは3年ごとでよいと思う。	
3年ごとの計画見直しは必要。	
まちづくり関連の審議会の委員には学区や町内でのコミュニティづくりを永年続けてきた方を優先に任命すべき。	
計画の3年ごとの点検は是非実行してほしい。	
それぞれの計画との整合性は必須。3年ごとの点検・再生は是非実行してほしい。	
計画が、試行錯誤の中で、より進化したものへと進展していくことを期待している。	

(2) 素案の修正に反映させるもの<5件>

具体的な方針、施策の例に関する御意見<5件>

いただいた御意見	本市の考え方
専門家の派遣の内容がわかりづらい。	9 ページに施策の例として記載していた「まちづくりに関する専門家の派遣」と「自主的なまちづくり活動の機運醸成」については、一つの項目にまとめ、よりわかりやすい表現となるよう修正します。
まちづくりに関する専門家の派遣についての相談先は区役所か、景観センターか。	
まちづくりの専門家の派遣が2項目あるが、違いがあるのなら役割分担を丁寧に書くべき。ないのなら一つの項目にするべき。	
認定NPO法人については用語解説を記載してはどうか。	12 ページに施策の例の中で記載している「認定 NPO 法人」について、その内容を説明する脚注を加えることとします。
NPOとNPO法人の表現の使い分けはあるのか。統一してはどうか。	7 ページ、11 ページ、12 ページに施策の例として記載していた「NPO 法人」の表記については、対象を法人格を有する NPO に限定していないものについては、「NPO」に統一します。

(3) 今後の施策の検討, 推進の参考とさせていただくもの<131件>

ア 基本的な考え方, 計画の位置付け, 目標等に関する御意見 (20件)

(ア) 計画全般に関する御意見, 御提案等 (10件)

いただいた御意見	本市の考え方
これから子どもたちに何を伝えていくのか気になる。	本市では、地域コミュニティの活性化のためには、地域における人と人とのつながりの大切さを今一度、皆が共有することが欠かせないと考え、条例を制定いたしました。特効薬がすぐに見つからないのも事実ですが、まずは、その大切さについて、あらゆる機会を通じて広くお伝えしていくとともに、地域の皆様の地域コミュニティ活性化に向けた様々な取組を支援してまいりたいと考えています。
理想的なことが書かれているが、実行できるのか。	
内容が難しい。地域の実態を丁寧に把握すべき。寺社から税金をとるべき。	
必要性は理解できるが、具体的なものは難しいと思う。	
普遍の価値観を皆が共有し、町内会を組織して活動するのはきれいごと過ぎるように思う。町内会の現実の認識と問題点の整備からやり直すべき。	
現在の自治会活動とこの計画をどう折り合いをつけるのか、わかりにくい。町内会の負担がより大きくなるのは避けてほしい。高齢者が救済されるのであれば意義がある。	
いろいろと立派なことが書かれているが、権利と義務の間で、ますます権利の主張ばかり増えていくように思う。	
推進計画以前に一人ひとりの意識改革が必要ではないか。	
本計画は、他の計画・指針等と整合を図りながらとなっているが、どのようなつながりとなるのか。	第4章にお示しているとおり、地域コミュニティは、市民のくらしのベースにあるものであり、市の定める計画の多くが地域コミュニティに関係します。したがって、この計画に基づく施策の推進に当たっては、他の計画の下で進められる関連施策を十分視野に入れ、庁内連携会議を活用して関連施策の整合性を図るとともに、それぞれの施策が相乗効果をもたらすよう取組を進めてまいります。
町内会への加入, 退去の防止についてもっと積極的な方針をうたうべき。	自治会, 町内会への加入等について、行政が強制することまではできないと考えていますが、自治会・町内会が行う加入促進の取組について、積極的に支援してまいります。

(イ) 計画の目標に関する御意見、御提案等（6件）

いただいた御意見	本市の考え方
みんなで目指す10年後の姿はだれが決めたのか。	「みんなで目指す10年後の姿」は、多くの市民の皆様のご知恵を結集して策定した、平成23～32年度を計画期間とする本市の基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げられているものです。
自治会加入率を27年度に1割も上げるのは難しいのではないかと。	自治会加入率の向上については、どのような取組が効果的であるか等について、京都市地域コミュニティ活性化推進審議会等で御意見をいただきながら、取組を順次、充実させ、目標の達成に向けて努力してまいります。
経済的負担に見合った成果が実感できないと、町内会に加入しない人もおり、4年間で1割増は厳しい	
行政区別の自治会加入率を示し、区がいろいろな手法を講じることで加入率を向上させるようにすべき。	
共汗目標推進のための具体的方策が示されていない。	
祭りのルートを防災避難ルートに合わせることが書籍に書いてあり、それをもとに目標を立ててもよいのでは。	地域で取り組まれているさまざまな行事等を、地域防災力の向上に活用することも大切な視点であると考えます。

(ウ) その他表現等に関する御意見（4件）

いただいた御意見	本市の考え方
辞書にない「共汗」を、こういう文書に使うのはいかがなものか。	本市におきましては、市民の皆様と行政が協働し、「共に汗して」進めていく取組を「共汗」と表現し、基本計画等でも使わせていただいています。
市民活動団体という時の市民の範囲はどこまでか。京都市民以外も含むのか。	御指摘のとおり、「市民活動」というときの「市民」は、「公ではない」、「民間の」といった意味合いであり、特に京都市民に限定するものではありません。
全体に片仮名单語が多い。京都にふさわしく日本語を大切にしたい文章にしてほしい。	市民の皆様にお伝えしていく書類等については、引き続き、わかりやすい表記、親しみやすい工夫に努めてまいります。
図やまんがを取り入れ、だれもがイメージしやすい工夫が必要。	

イ 具体的な方針，施策の例に関する御意見< 66件>

(ア) 具体的な方針に関する御意見，御提案等（3件）

いただいた御意見	本市の考え方
様々な方針が並べられているが，どの方針をいつまでにどの程度まで達成するのか，見えにくい。	この計画を実現していくに当たっては，常に市民の皆様の御意見を大切にし，さまざまな地域活動に携わっている市民の方や学識経験者等で構成する京都市地域コミュニティ活性化審議会の御意見をいただきながら，毎年度，事業計画を定め，その進捗状況を確認いただきながら取組を進めてまいります。
何事も市民の立場に立ち，考え，行動することを望む。	
目標4では，地域コミュニティからの要望意見を聞くことと，行政からの積極的な働き掛けが肝要。	

(イ) 施策の進め方等に関する御意見，御提案（7件）

いただいた御意見	本市の考え方
真に実現可能な，身近な部分から始める有効な施策を望む。	具体的な施策を進めるに当たっては，あらゆる機会を通じていただく市民の皆様の御意見を大切にし，さまざまな地域活動に携わっている市民の方や学識経験者等で構成する京都市地域コミュニティ活性化推進審議会の御意見を伺いながら，年度ごとに事業計画を定め，常に効果的な施策の検討，実施に努めてまいります。 また，市民の皆様の様々な活動を支援する施策につきましては，あらゆる機会を通じて，市民の皆様に知っていただく努力をしてまいります。
施策の例は，住民の意見を取り入れ，重点的に行うこと。	
いいことばかりだと思うが，まずは行政の人が地域の人と井戸端会議をして活性化を進めることが大事だと思う。	
地域に出向き自治会の活動に入っていくこと。住んでいる地域の役員を率先して引き受け，住民のお世話をすること。	
地域の課題は多様であり，行政側も積極的に掘り起こしを行っていく必要がある。	
行政側から地域に制度を売り込んでいくことも，今まで以上に行っていく必要がある。	
市職員自身がボランティアで活動すること。	

(ウ) 施策の例に関する御意見, 御提案等 (56件)

いただいた御意見	本市の考え方
町内会の会計処理の手引き等があると良い。会計ソフトを無料で配ってはどうか。	これらの御意見は、今後、自治会・町内会等の地域活動を支援していく施策の検討、実施に当たって、貴重な御意見として参考とさせていただきます。
まずはあいさつすることが大切。	
一人ひとりが朝、笑顔であいさつできる市民ができることが、この計画が良かったということになると思う。	
今までの組織体制を見直し、町内間の境をなくすなど、新しい枠組みを考えるべき。隣の家の町内が違うと、災害時にどのように動かわからないかも。	
向こう三軒両隣交流の重要性の認識をベースに町内会加入PR策を進めるべき。	
核になるのは市政協力委員と町内会長の兼務。任期を5年以上として、学区とのかかわりを持ち、各町内、各家庭への浸透に努めてもらう。	
市政協力委員の不在をなくすのが第一段階。任務がやりがいのあるものであれば、町内会長との兼務や任期(の延長)も解決できる。	
町内の子どもが少なくても、複数の町内で子ども会を結成し、活動を父母にお願いし、子どもの成長と大人の絆の成長を促してはどうか。	
良い取組を継承し、新しいことも創生し、若い世代に引き継いでもらうことが課題。自治会の仕事もやりがいや楽しみを感じるようにできると良い。	
自治会・町内会が適当な居住世帯数によって組編成されていることが大切。	
市政協力委員の役割はますます重要になる。町内会役員との兼任はやめた方が活性化にプラスになる。	
町内会等の諸役員、掲出ポスター等の印刷物等、時代に合わせて整理、簡素に絞っていくべき。	
町内会の役員に、介護保険等のサービスを案内・取次できる人を設置するよう推進してはどうか。	

<p>行政と地域組織とのコミュニケーションが重要。そのために学区ごとの自治組織の名称のアンバランスを解消すべき。</p>	
<p>町内会未加入世帯に対する勧誘のため、京都市名による地域支援の具体策を記したチラシ等を作成願いたい。</p>	
<p>気軽に、空いている市や府の運動場が使用できれば、人が集まり、コミュニケーションが図れるとともに健康増進にもつながると思う。</p>	<p>これらの御意見は、今後、さまざまな地域活動の場や居場所づくりを検討していく際に、貴重な御意見として参考とさせていただきます。</p>
<p>小さな学区は公園・集会所がないので、行政で場所を考えてほしい。</p>	
<p>プライバシーを確保した上で気軽に情報交換できる場があるといい。特技を持っている人が講師となるような催しが面白いのではないか。</p>	
<p>住宅供給公社の賃貸住宅に入居していたスーパー跡地を、地域の活動の場として活用させてほしい。</p>	
<p>福祉センターの更なる充実。老人の憩いの場所の設置。</p>	
<p>気軽に参加できる居場所・コミュニティルームがあっても、利用する人がそんなにいるのか。</p>	
<p>大学などがまちの縁側を設置する際は、地元のことを学んでからにすべき。</p>	
<p>地域には寺があるので、コミュニケーションを図る場としてスペースを提供してもらいたいのではないか。</p>	
<p>補助金ではなく、市として集会所を設置してほしい。</p>	<p>本市の厳しい財政状況等を踏まえると、市として集会所を設置していくことは困難であると言わざるを得ませんが、集会所の新築等に対する補助制度は維持してまいりたいと考えています。</p>
<p>学区にマンションが建ち、個人では自治会に入ってもいいというが全体では難しい。早急に管理組合に対する条例をつくってほしい。</p>	<p>条例等によって、自治会への加入を義務付けるといったことはできないと考えますが、地域コミュニティの活性化を目指すに当たって、共同住宅に関するさまざまな課題については、その解消に向けて、引き続き、検討してまいります。</p>
<p>主たる問題はマンションなどの集合住宅。条例で加入を義務付けなければ改善はされないと思う。</p>	
<p>学生、独身者、外国籍、共働き世帯等がコミュニティづくりを阻害している。マンションオーナーは、賃貸契約書に「自治会に加入すること」と入れるべき。</p>	

<p>自治会に加入しないマンションから、一定の協力金のようなことを可能にする条例があっても良いのでは。</p>	
<p>当学区は景観地区であり、東寺の東側は門前町である。花灯路を設けてほしい。</p>	<p>具体的な施策の御提案など、多くの御意見をいただきました。これらの御意見については、今後、施策を検討、実施していく際に、貴重な御意見として参考とさせていただきます。</p>
<p>現実をわかっていない方がつくったものそのもの。学校中心とはどこから考えているか、単純すぎである。もっと違った取組で組織を考えた方がいい。</p>	
<p>知っている人だけが知っているやり方ではかわらない。参加していない人に見えるようなやり方をもっと考えるべき。</p>	
<p>生活道路の車両通行止め。共汗というキーワードは重要。取組をした後は軽食等を用意し、意見を気楽に出し合える場面を設けると次につながると思う。</p>	
<p>私の周りでも独身が多い。相手に出会うきっかけを、市でつくっているところもあると聞く。京都市でもやってみては。</p>	
<p>地域連携の中心人物は女性。女性が得意とする井戸端会議ができる公的場から発信すればと考える。</p>	
<p>定年を迎えた縦割り組織で生きてきた男と、横つながりのネットワークで活動している女性組織を活用すれば地域コミュニティの本音で活性化できるのでは。</p>	
<p>道路の整備が悪く、歩きにくいところも多い。歩きやすい街にすることは、地域住民だけでなく、観光客にもアピールできる。</p>	
<p>ある方の書籍の中で、祭りを中心におくことで地域が活性化し、絆が強まるという意見があった。</p>	
<p>相談窓口等が、施策ごとにわかりやすく周知していくことが大切。</p>	
<p>様々な分野で取組が進められるのは良いこと。それぞれの施策のコミュニティとの関連について説明を望む。</p>	
<p>NPO立ち上げを支援する助成制度等も必要。</p>	
<p>リタイヤした有識者の力を借りて学校教育の充実を図ってはどうか。</p>	
<p>学校跡地に子どもたちのための何かを考えても良いと思う。</p>	
<p>新規採用職員を各学区に居住させる際には、空き家を改修して活用すると、空き家解消につながる。</p>	

<p>毎年の新規採用職員を各学区に居住させ、学区の手伝いをさせてはどうか。職員研修にもなる。</p>	
<p>図書館への自由空間の付属を希望する。</p>	
<p>情報発信費用の助成はありがたいが、機関紙がひも付きのようになってしまうので、市の広告を掲載してはどうか。</p>	
<p>集合住宅または町内共同での生ゴミ再生処理設備の設置補助などを検討してほしい。</p>	
<p>学区は大切なコミュニティ単位。地域包括支援センターや認知症の相談窓口が身近な学校の一角にあり、19時頃まで受け付けてもらえると相談しやすくなる。</p>	
<p>まちづくりについてのマンガがあると良いと思う。</p>	
<p>個人情報の収集・管理をサポートする、行政側からのアドバイスが必要。</p>	
<p>真のワークライフバランスは具体的な取組を紹介すべき。地域福祉推進事業の担当には区・支所も記載すべき。</p>	
<p>計画の目標達成のため、啓発用の標語や川柳を募集してはどうか。</p>	
<p>空き家の活用、整備、保全、防災、備蓄倉庫。町内のボランティアで空き家を手入れする。家主にメリットがあるようにする。東京から東の人を空き家に受け入れたい。</p>	<p>防災等の観点からも多くの御意見、御提案をいただきました。今後の地域防災計画の見直しや、施策の検討、実施の際に、貴重な御意見として参考とさせていただきます。</p>
<p>各地域の防災対策の徹底。消火器3年に一度の点検。</p>	
<p>防災訓練など、大規模に行うより小規模な範囲で行うことで、企画に共感・参加されやすくなるのではないかと。</p>	
<p>防災関連の企画が地域の防災部長に伝わっていなかったことがある。情報網の整備が必要。</p>	

ウ 計画の推進、点検等に関する御意見< 6件 >

いただいた御意見	本市の考え方
<p>具体的な計画が見えない。現在にあった内容の取組がない。</p>	<p>計画を推進していくに当たっては、さまざまな地域活動に携わっている市民の方や学識経験者等で構成する京都市地域コミュニティ活性化推進審議会の御意見を伺いながら、年度ごとに事業計画を定め、取組を実施</p>
<p>審議会に意見を求めるとしているが、地域の実情の違いはどのように反映されるのか。</p>	

<p>いかに若い世代を取り込むことができるかが、計画を推進していく上で、大変重要な要素。</p>	<p>していくとともに、その進捗状況等に 応じ、必要に応じ、随時、見直し・充 実を行っていくこととしています。</p>
<p>審議会については、各行政区に一つ設置してほしい。</p>	<p>審議会につきましては、全市で一つ のものとしていますが、各区の区民ま ちづくり会議など、あらゆる機会を通 じて、さまざまな地域、さまざまな年代 の方々の御意見を伺い、今後の施策 の推進、計画の点検等に反映させて いくよう努めてまいります。</p>
<p>計画の点検は、自治会・町内会等が協力して1ヶ月ごとに してはどうか。特に高齢者に対する民生委員の方々の協 力も大切。</p>	<p>なお、計画の点検につきましては、審 議会において、自治会等の加入率の 動向を含め、さまざまな施策の進捗 状況等を総合的に検討いただきたい と考えています。</p>
<p>計画の点検を町内会の加入率をもって行うのは厳しい。</p>	

エ その他の御意見（39件）

<p>いただいた御意見</p>	<p>本市の考え方</p>
<p>自治会の中での世話やきな人を抽出して、自治会活動のサ ポーターとして頑張ってもらえる組織作りをしようと思っ ている。</p>	<p>多くの方々から、各地域での活動等を 御紹介する御意見をいただきました。 これらの御意見は、今後の施策の検 討、実施の際に、貴重な御意見として 参考とさせていただきます。</p>
<p>学区住民の誰もが参加できる(まちの縁側)ふれあいサン デーモーニングを月2回、学校ふれあいサロンで開催して いる。毎回50～60名が交流の場として利用している。</p>	
<p>放っておくと自治組織が衰退するのは目に見えている。そ のため、困難を乗り越え、次の世代にバトンタッチできる よう、地域コミュニティの活性化を目指している。</p>	
<p>地域の10年後を見据えて「考える会」を立ち上げ、地域 の中心メンバーが、後継者育成のために30～40代を呼 び込み、体験談の発表等で交流を図っている。</p>	
<p>地域の清掃活動とバーベキュー大会、ガレージセール のイベント、ミニコンサート</p>	
<p>川、公園、道路の美化活動を行い、達成感を経験し仲間 づくり。10年後に地域の川、公園で世代を越えて集う場 所づくり。</p>	

<p>東高瀬川の河川美化活動を昨年から実施。9年後に川遊びをすることが目標。不法投棄をなくすには住民がアクション。</p>	
<p>居場所…町内に適当な建物がないので、時々(ガレージで)町内親睦喫茶をしている。</p>	
<p>私の活動の資料を同封する(「元気のしるし」を玄関に掲示してもらい、ボランティアが毎日確認)。</p>	
<p>健康すこやか学級に150名以上の70歳以上の方が来られ、情報交換の場として役立っている。地域包括の方との連携は心強い味方だと思う。</p>	
<p>私の学区では、町内会長に年1回アンケートを行い、地域の課題を行政に知らせてくれており、貴重な機会だと思う。</p>	
<p>「声かけて あいさつしよう 絆づくり」をマンション自治会の標語とし、運動を進めている。</p>	
<p>当自治会でも高齢化が進んでおり、日頃から近隣の人たちが声掛け等を通じて絆を深めている。</p>	
<p>当自治会では全員を対象に総会を開催し、その活動方針に基づいて活動を行っていくよう努めている。</p>	
<p>当自治会では各家庭の動向把握と交流を図るため、芋掘りの行事を行っている。組長の懇親会も行っている。</p>	
<p>誰でも参加できるイベント→知り合い、仲間づくり</p>	<p>多くの方々から、各地域の実情や地域活動に関する所感や御提案をいただきました。これらの御意見は、今後の施策の検討、推進の際に、貴重な御意見として参考とさせていただきます。</p>
<p>高齢者に良いまちづくりを進めたい。</p>	
<p>3ヶ月ごとに訪問して個人の悩みを見極め、問題点を出して老人指導員と相談して行う。</p>	
<p>老人指導員と話し合っ取り組む。地域づくり推進課長からアドバイスももらって進める。</p>	
<p>相談者も多くいるので、相談の上、物事の解決に努める。</p>	
<p>各学区のふれあいサロンで食事会等が行われているので、気軽に友人と参加すること。</p>	
<p>区民運動会や敬老会の日の饅頭配布などの、現状のムダをとる努力もするべき。</p>	
<p>地域社会の最小単位である自治会長と組長が、就任時にあいさつ回りをすれば、町内の事情がわかり、その後に生かせることが多くあると思う。</p>	

<p>地域の課題を把握・解決するためには、自治会役員が自ら訪問すること、問題解決方法を引き継ぐことが必要。</p>
<p>自治会役員の役割をみんなで応援し、役員の負担軽減につなげるような組織にすることが大切。</p>
<p>自治会は体質が古い。まず自治会の体質改善を図るべき。</p>
<p>自治会加入世帯の減少の大きな原因は、役員の負担が重いこと。活動の整理統合、取捨選択を行わないと、コミュニティの担い手がいなくなる。</p>
<p>賃貸マンションに居住している人が、自治会加入を断られたそうである。小学生の子があり、地蔵盆等に参加したいのに残念と言っていた。</p>
<p>民生委員と町内会との噛み合いが悪い。老人指導員との間で話し合っている。</p>
<p>つながりの大切さが言われる一方、自治会脱会も増えている。</p>
<p>現在の自治会に負担を強いるのは、経済的、人的に限界があると思う。</p>
<p>8年間市政協力委員をしたことで地域とかかわり合いが持てるようになったが、他の委員は任期が短い。</p>
<p>町内会長をするに当たり、数軒が町内会に入らないと言っている現状を知った。驚きとさびしい思いで複雑である。</p>
<p>地域の方が小学校の登下校の際、子どもの見守り活動をされているのは有難い。</p>
<p>今年初めて自治会の役をしているが、話す機会がなかった方と顔見知りになれて良かった。地域を良くしていくために自治会の存在意義は大きい。</p>
<p>自治連合会の役員の負担を軽くしないと、高齢者が気軽に参加できない。</p>
<p>地域と学校や関係機関・団体とのつながりを深めていきたいと思う。</p>
<p>組単位で問題が発生している。身勝手な人に正しい人が負けてしまい、会を辞めれば楽になると錯覚されている。</p>

<p>回覧物等が多いことが負担となり、まちづくりに参加する住民が少ない。</p>
--

(4) その他の御意見< 11件 >

いただいた御意見	本市の考え方	
(私の)意見に対する他の住民の意見を紙面で公開してほしい。	今後とも、市民意見募集でいただいた御意見は、氏名等の個人情報を除き、できる限りホームページ等で公開していきます。	
13ページの地域コミュニティの活性化のイメージは、もともと盛り上がる感じがよいのではないか。	今後、計画冊子を作成していく際の参考とさせていただきます。	
出会い系インターネットホームページは嫌い。	これらの御意見は、本計画の策定に直接関係するものではないと判断させていただきましたが、いただいた御意見は、関連部署にお伝えし、今後の施策の検討等の参考とさせていただきます。	
市民しんぶんは業者で配ってください。		
市民しんぶんの紙面で、くわしいことはホームページでと書かれている。興味を持って読んでいても、気がなくなってしまうので、何とか考えてほしい。		
バス停に案内人がいると良い。JR京都駅は出入制限が必要。七条署がなくなり交番が探しにくい。バスのダイヤ改正は金の無駄遣い。バス停の屋根も不要。		
点字ブロックの破損が目立つ。ご一考を。		
自転車の安全面の配慮として、専用道の整備、駐輪場の増設に加えて、乗り方の指導や取締りの強化を推進する必要がある。		
認知症の親を抱えて働く人がいる。そういう方が利用できる施設があれば安心して働けるのでは。		
市立高校が府下全域から生徒募集するのは違和感がある。地域コミュニティを破壊する。		
(判読できなかった御意見)		—